

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

メトロポリタン歌劇場などで活躍!
熱い音楽で世界を魅了する俊英!

指揮 ヤデル・
ビニャミーニ

Conductor

JADER BIGNAMINI

ROSSINI:

"GUILLAUME TELL" OVERTURE

GLAZUNOV: VIOLIN CONCERTO

in A MINOR, OP. 82

TCHAIKOVSKY: SYMPHONY No. 6

in B MINOR, OP. 74 "PATHÉTIQUE"

人生って、素晴らしい!

イタリアの伊達男は、愛と死を熱く語り、
ウィーン・フィルの名花は、可憐に踊る。



ロッシーニ
歌劇「ウィリアム・テル」序曲

グラスノフ
ヴァイオリン協奏曲 イ短調 作品82

チャイコフスキー
交響曲 第6番 ロ短調 作品74 「悲愴」

ヴァイオリン

アルベナ・
ダナイローヴァ

ウィーン・フィルの女性コンサートマスター
ストラディヴァリの艶やかな音色を披露!



ALBENA DANAILOVA

Violin

読売日本交響楽団 第612回 名曲シリーズ

2018 5.15(火) 19:00

サントリーホール

S ¥7,500 A ¥6,500 B ¥5,500 C **SOLD OUT**

POPULAR SERIES, No. 412
TUESDAY, 15 MAY 2018 19:00
SUNTORY HALL

読響チケットセンター 0570-00-4390
(10時-18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

<http://yomikyo.or.jp/>

イタリア期待の俊英× ウィーン・フィルの女性コンサートマスター 傑作「悲愴」など 二つのロシア音楽で、 ドラマティックな表現力を披露！

カリスマ性と洗練された音楽性を兼ね備えたオペラ界の俊英ビニャミーニが、3つの名曲を情感豊かに描く極上の一夜。メトロポリタン歌劇場、ローマ歌劇場、フランクフルト歌劇場など世界の一流歌劇場に招かれ、「アイダ」「ドン・カルロ」などを指揮して喝采を浴びている期待の星です。数々のオペラ経験で培われた、繊細な心理描写など多彩な表現力にご期待ください。

メインは、チャイコフスキーが最後に完成させた交響曲第6番「悲愴」。作曲家が初演の9日後に世を去ったというエピソードやその表題から、「死」とともに語られることが多い名作。実際、むせび泣きから慟哭への抑えきれない感情や、命の果てを思わせる静寂のフィナーレは聴く者の胸を打ちます。しかし何より魅力的なのは、深い悲哀の中で奏でられるメロディーの陶酔的な美しさ。俊英ビニャミーニの情熱的なタクトが引き出す、ドラマティックで甘美な音楽はまさに感涙の極みに誘うでしょう。

1曲目のロッシーニ「ウィリアム・テル」序曲では、ビニャミーニがオペラ指揮者としての手腕を発揮します。チェロのソロと五重奏による「夜明け」に始まり、全合奏による激しい「嵐」、イングリッシュ・ホルンが印象的な「静寂」、そして歓喜に沸く「スイス軍隊の行進」の4つの場面を鮮やかに描き分けます。

2曲目のグラスノフのヴァイオリン協奏曲は、ロシアのヴァイオリン協奏曲の中でも、チャイコフスキーやプロコフィエフの作品と並び称される傑作です。この曲では、ウィーン・フィル史上初となる女性コンサートマスターとして活躍している名手ダナイローヴァがソリストとして登場。叙情的な美しさをたたえる旋律を、名器ストラディヴァリの艶やかな音色で歌い上げます。



指揮
ヤデル・ビニャミーニ
JADER BIGNAMINI, Conductor

息の長いカンタービレと熱いパッションで聴衆を魅了するイタリアの俊英。1998年に巨匠シャイーに見出されてミラノ・ヴェルディ響のクラリネット奏者となり、2012年から副指揮者を、16年から同響の常任指揮者を務めている。ポロニヤ歌劇場、ローマ歌劇場、パレルモ・マッシモ劇場、ヴェネツィア・フェニーチェ劇場などイタリアの主要な歌劇場で活躍している。バルマのヴェルディ音楽祭、ペーザロのロッシーニ音楽祭などにも出演。メトロポリタン歌劇場、フランクフルト歌劇場、ポリショイ劇場、サンタフェ・オペラでも成功を収め、19年はアムステルダム歌劇場にデビューするなど国際的にも活躍。フィレンツェ五月音楽祭管、シチリア響、スロヴァキア・フィルなどへも客演し、好評を博した。

ヴァイオリン
アルベナ・ダナイローヴァ
ALBENA DANAILOVA, Violin

ウィーン・フィル史上初の女性コンサートマスターとして活躍する名手。ブルガリアのソフィア生まれ。ティボール・ヴァルガ国際コンクールなどに入賞。2001年にバイエルン国立歌劇場管に入団し、その後コンサートマスターを務めた。ロンドン・フィルのコンサートマスターも歴任。08年にウィーン国立歌劇場管のコンサートマスターに就任し、注目を集めた。09年にはザルツブルク・モーツァルト週間にて、小澤征爾の指揮でハイドンの協奏交響曲のソリストを務め、好評を博した。ソリストとして、ハンブルク北ドイツ放送響などと共演しており、17年4月にはソフィア・フィルとのベルクのヴァイオリン協奏曲で絶賛された。使用楽器は、オーストリア国立銀行から貸与されている1709年製ストラディヴァリウス“ex-Hämmerle”。



読売日本交響楽団 第612回 名曲シリーズ

2018年 5月15日(火) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ~~5,000~~

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017